



4月 花見



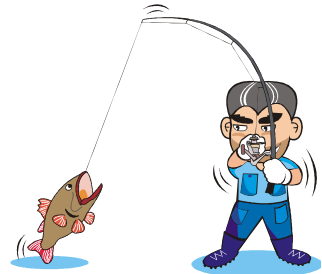
4月18日(土) 青空のもと亀川漁港で花見がありました。
港の周りには満開の桜が咲いていました。実際この場所が決まるまで花見を開くのにどこがよいかスタッフ皆悩みました。第一にトイレが一番の問題です。障がい者トイレがないとどこにも行けません。まずトイレがあり桜の見える場所はどこか? 毎年悩む問題です。遠方の場所だと車で行かなくてはいけませんし、車のなかだと話がしにくいので、それよりも歩いて行けるところに行こうということになりました。

誰かが「農協の隣の公園に桜が咲くよ、障がい者トイレもあるし」と言い、また他の人が「亀川漁港に桜が咲くよ」という。実際に下見に行くと距離的には歩いて行くにはちょうどよい。しかし、どれが桜の木かわからないし公園にはそれらしい木が一本しかない。木を写真に撮って帰っても誰もこの木が桜かわからない。う～んこまった。

漁港のそばに潮彩屋と言うお店があります。二階が食堂で一階が海鮮物などを売り、障がい者トイレもあります。参加者の中で誰もこの店で食事をした事がないということになりました。まず、スタッフのYが下見に行きお店の人と話しをしてメニューとトイレの写真撮ってきました。さすがに漁港らしく海鮮物の品がずらりと並んでいました。トイレの写真を見ると少し残念。トイレは広いのですが、横の手すりが固定されていました。これでは車いすを便器の前につけての移動しかありません。車いすから立てる人か、上腕が丈夫な人か、介助者が抱えるかしかありません。

当日、事務所前で集まりのんびりと景色を眺めながら移動することになりました。この日は青空にも恵まれ心地よい風に吹かれながら漁港を目指しました。漁港に入ると満開の桜が私たちを迎えてくれました。まずお店に入りそれぞれ好きなものを注文して食べましたが魚は新鮮でおいしかったです。食べ終わったあと外に出て満開の桜の木の下で一杯やりながら話にも花が咲いていました。障がい者で十年ぶりに会えたねと喜ぶ人もいて声掛けをしてよかったと思うところもあり、桜も天気も食事も良く最高の花見が無事終わりました。

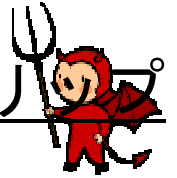
M





5月

映画観賞・フィールドトリップ



5月28日に公共交通機関を使って映画を観に行きました。亀川駅から大分駅まで電車でいき、大分トキハ前からノンステップバスにのりパークプレイスに行きました。バスを予約するのに、あっちこちに電話をかけ回しやっと取れたのですが、朝に1本、夜に1本しかなくそれに乗るのに早く家を出なければなりません。帰りも夜の8時台なのでそれまではそこにいるしかありません。もっとノンステップバスの本数が増えれば好きなときに行け、帰るときも好きな時間に帰れるようになればよいなと実感しました。

まつうら みのる
松浦 実



「ランチ・コード」の第
「魔」前回に引き続き
に引き込まれる内
た時には悪魔にな



公共交通を使えなくて・・・

4月にバス会社と大分県に車イスが乗れるバスを増やすように他団体と一緒に要望書を出しました。要望書を出すだけでは悪いから、今回バスを使って映画を観に行くことになりました。

前日からバスの手配をしないではいけません。(タクシーか)乗り換えるのを覚悟してバスの営業所に電話をした。「9時台に〇〇線で車イスが乗れるバスは走っていますか？ありません」「10時台は・・・ありません」「11時台は・・・ありません」「え～い12時台は・・・ありません。もういいですがチャン」13時から観たい映画が始まるのに観れないではないか。

直行便はないにしても1キロ歩いて隣の〇〇線に行けばあるだろう。また営業所に電話をして「9時台に車イスが乗れる〇〇行きはありますか？ありません」「10時台は・・・ありません」「11時台は・・・ありません」「え～い12時台は・・・ありません。何故そんなに走っていないんですか？」「車イスが乗れるバス自体少ないですし、走る路線が決まっているんです。大変申し訳ありません」「これでは乗りたくても乗れませんよ、早く台数を増やしてください」「ハイ、出来るだけ早く増車したいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします」頼まれてもこっちも困る。

結局乗れるバスがありませんでした。これではバス離れがあって当然だわ。車を持っている人ならよいが、持っていない障がい者や老人は高いタクシー代を払って移動しないとけません。東京のように全部のバスが車イスも乗れるバスになるのはいつ頃だろう。

M

